

庁舎整備特別委員会 審査報告

○22年度補正予算

【基本計画策定業務委託における実現方策としてのPFI手法の検討】住吉町住宅建設等のノウハウもあり、それも含めPFI手法による整備の可能性があるかどうかを検討する。次の議会までに間に合うかどうかは明言できないが、庁内で検討しその検討結果を示したい。

【PFI手法での整備における合併特例債の活用】住吉町住宅のような買い取り方式の場合は合併特例債を活用できるが、リース方式では活用できない。

○庁舎整備にかかわる事務の調査

【能代地域と二ツ井地域の調整・二ツ井町庁舎の活用】市の具体的な方針、考え方がある程度まとまった段階で、二ツ井地域協議会に説明し意見をいただくほか、市民懇話会の意見、特別委員会や議会の意見などをいただき基本計画の策定を進める。意見の中には、計画に反映できる部分、できない部分が出てくると思われるが、理由も含め市の考えを説明し理解を得たい。

【木の活用】木造については、経費面やこの場所での程度の規模で建てられるのかといった問題がある。今後の懇話会で、木を使った庁舎の先進事例や本市の建築基準法の制限など、具体的に判断できる資料等を提示して御議論いただきたい。

【職員数の規模と新庁舎建設】今後の職員数の推移を懇話会に示すとともに、市民の利便性や行政としての機能確保などを総合的に勘案し検討するが、基本的には、平成28年時点の職員数を前提に検討を進めたい。

【議事堂保存に係る市の考え】基本的には保存活用を考えているが、診断結果にある補強項目の実施にどの程度の費用がかかるのか確認しないと判断できないほか、その改修の程度そのものについても検討しなければならない。必要な場合は予算措置について

てお願いする場合もある。
【補強等を行った場合の文化財としての登録への影響】外観の4分の1以上の変更があれば現状変更の届け出が必要。設計事務所は登録有形文化財としての形態を変えないような形で補強できるのではないかとこのことであり、補強による文化財登録への影響はないと考えている。



(能代市議会議事堂)

○23年度当初予算

【市民に対する説明会等の実施予定】基本計画がある程度まとまった段階で市民への説明の機会を設けたい。どのような形で実施するかは今後検討したい。実施場所の費用がかかる場合は別途対応する。

【市庁舎整備の検討を延期する考えはないか】地震の危険性が切迫した状態にある。将来的に庁舎をどうすべきか今の段階で決めたい。今回の大地震でも地方も非常に厳しい事態にあるが、国の財政支援が受けられるこの機会に整備したい。

【いつごろ、市の基本的な考え方や計画の概要を市民懇話会に示すのか】おおよそ第8回目、10月ぐらいには計画の概要を提示できるのではないかと。そこで意見・提言などをいただき最終的に12月に決定する。9月定例会に審議資料などを提出できるように、作業スケジュールを組んで努力したい。

行政視察の受け入れ状況

全国の議会では、議員の議案審査や事務に関する調査研究のため行政視察を行っています。能代市にも毎年県外から多くの議会が訪れています。22年度は25議会148名が来能し、市政全般にわたる項目について調査研究していかれました。22年10月2日以降は12議会が来能しています。議会名と視察項目は次のとおりです。

- 埼玉県北本市 能代ふれあいプラザ
- 埼玉県蓮田市 スポーツの振興
- 東京都福生市 教育環境適正化（学校統合）
- 北海道滝川市 学校統廃合、学区編成、学力テストの結果と向上策
- 静岡県三島市 学校教育（学力向上の施策、少人数学級）
- 宮崎県都城市 新バスケの街のしる推進計画・地元産木材利活用（第四小学校）
- 大分県豊後大野市 議会運営
- 埼玉県秩父市 地域木材利用学校関連施設整備事業
- 福島県郡山市 住宅関連補助事業
- 宮崎県西都市 消防団員確保の取り組み
- 福島県白河市 学力向上の取り組み
- 秋田県北秋田市 能代市議会議員政治倫理条例

※ 来能した議会の半数以上は、能代市内で昼食または宿泊していただいております。